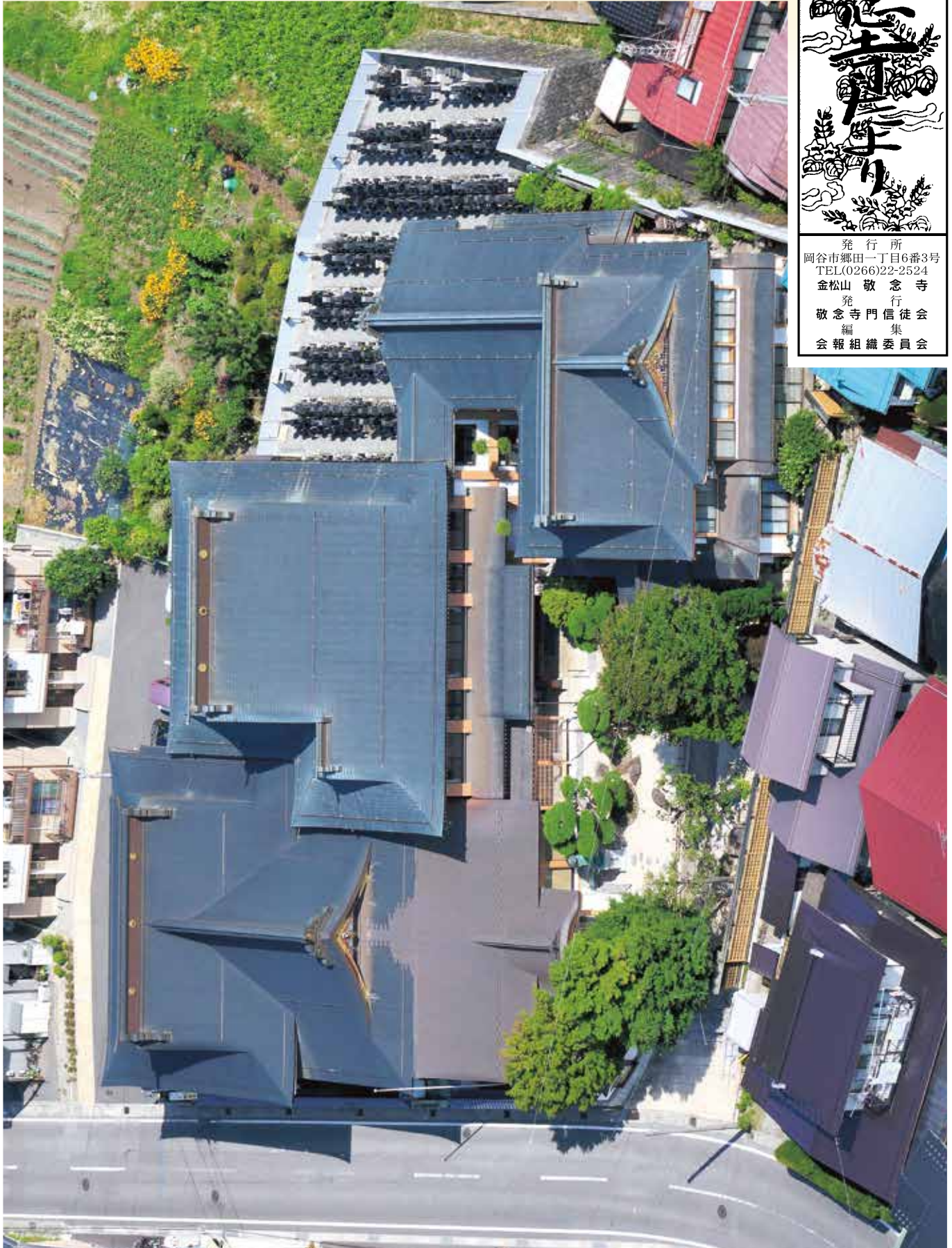


大空から見る寺の境内



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

家族でお寺に集う!

—賑わったファミリー参拝—

第二十七回ファミリィ参拝は七月十日(土)に行われ、多くの皆さんが境内に集いました。

プロジェクトリーダー紙芝居に続くお勤めでは讃仏偈を誦経、代表の子どもが献灯・献華を行った後、住職と若院からお話しをいただきました。またコールガンダーの合唱の披露・歌に合わせた手遊びもあり本堂には笑顔があふれました。今年も境内には、流しソーメンやイカ焼き、綿あめ、ポップコーンが用意され、新しくヨーヨー釣



代表の子どもが献灯・献華を行う

りもありいずれも大好評。また子供達は輪投げ、じゃんけん大会でも楽しいひと時を過ごしました。



コールガンダーの歌に合わせて手遊びを楽しむ



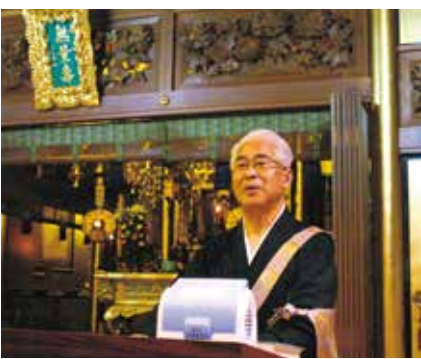
初登場のヨーヨー釣り

第三十一回 早朝連続参拝に 延べ七百二十人

第三十一回早朝連続参拝が八月一日から十日間行われ、延七百二十人が参加。初参加の方も多く、皆さん熱心にお勤めされました。

第一日はご住職の法話をいただき、二日目から九日目までの八日間は昨年引き続き若院を講師に、「蓮如上人御文章の味わい」を聴聞させていただきました。御文章が分かりやすく解説され、真宗のみ教えを深く味わうことができ、参加者から感謝の声が多く聞かれました。

感話では、八人の方々からそれぞれ味わいのあるお話があり、参加者一同に深い感銘を与えていただきました。【五ページへ続く】



法話をされるご住職



熱心にお勤めされる皆さん



子どもの参加もありました

ご家庭でも!

食後のことば

食前のことば

多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。☆深く「恩を喜び、ありがたくいただきます。尊いおめぐみを おいしくいただき、ますます御恩報謝に つとめます。☆おかげで、ごちそうさまでした。

第31回 早朝連続参拝皆勤者

(敬称略)

大瀧政子	牛山節	今井ミツル	伊藤サダ子	伊藤博士	一木千恵子	五十川イシ子	五十川敏枝	石川美代子	石川勝	五十嵐キワ子	飯吉好子	飯吉袈裟雄	青木さと
高嶋三代	白田正夫	清水一男	清水博次	渋谷常則	小松滋子	小平敬子	小平智博	小池健蔵	黒瀬美代子	春谷卷雄	加賀幾子	小原正三	大洞軍治
堀内今朝由	星野佐智枝	藤本輝子	萩原マチ子	西山周治	西山恵美子	西岡廣子	西岡泰輔	那須三都子	仲田長晴	中島俊一	中川幸江	千原博幸	鷹野原仁
大勢の参加!	寺族が加わって	その他住職を含め	以上五十二名	渡辺則仁	吉田龍司	山下政子	山下幸治	矢島アヤ子	宮原清	宮嶋一守	三ツ井よし彥	堀尾由子	

今年八月、大好きだったおじいさんの葬儀が敬念寺で行われ、その感想をお孫さんが寄せてくださいました。

◆◆◆ 寄稿文 ◆◆◆

葬儀を機縁として

東京 瀬戸麻利江

大学進学と共に上京し、今年で八年になります。今年九月のはじめ、実家を出た日にも元気で見送ってくれた祖父の葬儀のため、予定外の帰省となりました。

いわゆるいまどきの若者の例に漏れず、お寺の作法や仏教の教義に暗い私ですが、心に残った二点を書き留めておこうと思います。

一点目は、葬儀は悲しい別れだけで終わるのではなく、故人やその他の人たちのおかげで自分が生かされていることを知る機縁である、というご住職のお話です。

そもそも、隣組や一部の親類の方々に初めてご挨拶ができたことはもちろん、上京以来なかなか会えない従姉妹と久しぶりにゆつくり話が出来たのも、従姉妹の息子の成長ぶりに驚くことができたのも、この貴重な機縁のおかげで

した。祖父を中心とした、こうした人と人の繋がりの中で生かされてきた自分について、考える機会をいただいた数日間でした。

二点目は葬儀の最後にご住職が読み上げてくださった「御文章・白骨の章」です。「朝には紅顔ありて、夕には白骨となれる身なり」の一文は無常を説いた文章としても有名ですが、耳で聞いた御文章全体の響きが印象に残り、後日、全文を読んでみました。

読んでみて、古文としても美しく何度も読み返してみたくなるこの文章は、どうも単にこの世は無常であるという以上のことを言っているらしいと感じました。浅学のため、「後生の一大事」とは何か等まだまだ理解できない部分は多くありますが、それは、これから何度もこの御文章を読み返していく中で、そのたび発見したり学んだりしていくものなのかもしれません。

そうは言っても死別は悲しいものですが、ご住職のお話や御文章の一文を胸に留めて、今回の葬儀を悲しいお別れで終わらない貴重な機縁とできるよう、心がけて日々の生活を送っていききたいと思っています。

仏事なんでも相談 Q&A No.7

Q よく石屋さんや仏壇屋さんから「法名」の正定聚の下の「位」を彫りますか、書きますか、と質問されますが、

A 「位」は「住す」とか「入る」という意味で、書いたり彫ったりしてもよいと思います。

阿弥陀仏の本願を聞き信心を得た者は、臨終の一念に真実報土に往生し、無上涅槃を悟って成仏し、「正定聚の位につく」と親鸞さまは言われております。そのことを浄土和讃には「安楽国を願う人、正定聚にこそ住しけれ…」と、正定聚の位に入れて頂くことを喜ばれています。

Q 浄土真宗の法名は「釋」がつき、釋○○と二文字だとお聞きしていますが。

A その通りですが現在敬念寺では、お位牌や過去帳には戒名との違いを明確にするために「法名」とし、釋○○の下に前の質問でお答えしたように「正定聚位」をおつけし、また、お書きし

ております。

なお、院号は法名の上につける尊称で、現在はお申し出により篤信の方や寺院、宗門の護持発展に功績顕著な方、また今後共その意義をかみしめお尽しいただく方、またその家に贈っております。

表記の仕方は、資料（お墓の写真）としてお示ししたように「正定聚位」は全ての人に平等に贈っております。墓石などには、「法名釋○○」と表記されても何等問題はありません。

このことについて、「ふたたび法名について」や敬念寺だより第四十三号〜四十八号の「浄土真宗の法式にそった法名について」、第六十三号の「法名は今」、第八十二号の「法名について」を参照してください。



ふたたび法名について

― 法名の本来化にむけて ―

本来、法名とは帰敬式を受式して、三宝に帰依し、仏法を聴聞する仏弟子としての、み名で、生前に、ご門主（京都西本願寺の住職）よりいただくものです。

しかし、本山は遠くであり、一生の間に法名をいただく機会がなかった人に、菩提寺の住職がご門主のお手代り（代理）としておくりまします。大多数の人は亡くなった時に住職よりつけていただくのが現状です。

○ 法名と戒名の違い

悟りを得るための厳しい修行をする上で守らなければならぬ定めを戒律といえます。

例えば、「不殺生戒」（殺生をしない）「不妄語戒」（うそをつかない）など五戒が代表的なものです。

戒名とは受戒して戒律を守れる人に、その程度に応じて居士、大姉、信士、信女、善士、善女などにつけられるものです。

他の命を殺さずに私たちは生きられるでしょうか。浄土真宗の教えには戒律はないので、戒名といわず「法名」というのです。

○ 釋（釈）のいわれ

浄土真宗の法名には必ず「釋」がつかれます。「釋」とはお釋迦さまの「釋」であり、仏弟子の証なのです。従って、俗名はさまざまでも法名は全て等しく「釋」を名のり平等な仏弟子としての世界がひらけるのです。

○ 法名と字数

浄土真宗の法名は社会的地位、人種、国籍を問わず「釋○○」の二文字です。そして、全ての人が阿弥陀如来の救いにあずかり、「正定聚の位につかさせていたたく」のです。我もひとも等しく御同朋、御同行として、お念仏をよるこび共にお浄土へ往生させていただく仏弟子としての証が法名であることを考えれば、「釋」の名のりこそが尊いのであって、字数の多少はさして意味のあることではないように思われます。そして法名の字数が何人たりとも等しいという原則はむしろ阿弥陀さまの救いが万人に平等であることを示すすばらしい美点といえるのではないのでしょうか。今後とも本山の基幹運動に呼応して、法名の本来化に向けてご理解とご協力をお願いいたします。

【三ページから続く】
早朝連続参拝主役の皆さん！
若院から八日間にわたり、御文章の解説をしていただきました。



那須三都子さん(4日)



石川美代子さん(3日)



小池門信徒会長(1・2日)

|| 感話者のスナップ写真 ||



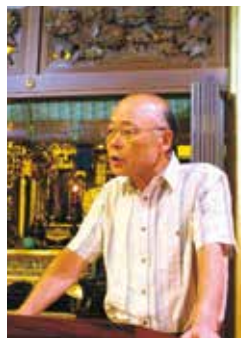
御文章を拝読する若院



牛山 節さん(10日)



西山周治さん(9日)



田口 慎さん(7・8日)



北條みわ子さん(6日)



中島健康さん(5日)



お寺に車いすを常備しました。外用に一台、中用に二台ありますので、ご利用ください。

—やさしい寺づくり—
今も進めています！



影の主役！満開の百日紅が皆さんを迎えてくれた

アンケート二題！

▼今年発足した、社会奉仕委員会では、活動の方向性や会員のニーズなどを探るため、アンケートを実施しました

お寺の法要や行事、参拝される際の交通手段、周りへのおさそい・声かけなどについての質問項目をあげ、秋彼岸法要に参拝された方々に配布し、六十四名の方から貴重な回答をいただきました。今後の取り組みの参考とさせていただきます。

▼ファミリー参拝に参加した子供達にもアンケートをお願いして、感想を寄せていただきました。「来年も楽しみにしています。」など率直な声が聞かれました。ちびっこからの感想を大事にしなが、来年につなげます。

お世話人の異動 (六月一日付)

退任 長い間ご苦勞様でした。

○地区世話人

- 小林 良三さん (堀ノ内)
- 曾根原平八さん (川岸東)

○地区世話人

- 新任 よろしくお願ひします。
- 中島 利一さん (堀ノ内)
- 川尻 政美さん (川岸東)

報恩講について!

報恩講は宗祖・親鸞聖人を偲び、そのご恩に報いるよう、お念仏をよりいっそう味わわせていた、ということから、一年に一度勤められる、浄土真宗にとつてもっとも大切な仏事です。

親鸞聖人は、阿弥陀如来の大きな

慈悲に包まれた、本願念仏の教えが私たちの救われる、ただ一つの道であることを明らかにしてくださいました。浄土真宗のみ教えに、できることができるのは、正に親鸞聖人のご苦勞によるものです。

このご恩に感謝し、聖人を讃える報恩講法要に今年も皆様お誘い合わせてご参加ください。

平成二十二年度

報恩講法要のご案内

—今年最後の法要です。おさそい合わせてお参り下さい—

◆日 時 平成二十二年十一月十四日(日) 午前十時より

◆行事日程 (開始十分前には入堂ご着席ください。)

○受付 九時三十分〜 九時五十分

○報恩講法要 十時 十時四十五分

○コーラス 十時五十分〜 十一時

○法 話 十一時〜 十一時五十分

講師 東京教区布教団副団長

本願寺布教使 鶴山信行 先生

人間の喜びと悲しみ

—親鸞聖人のよろこびと悲しみ—

○おとき (会食) 十二時十分〜

◆報恩講協賛

門信徒作品展 (絵画・写真・彫刻・書・手芸
山野草・菊花など)

トピックス

日曜礼拝の後

きのこ汁を楽しむ!

毎月第一週の早朝六時から、婦人部の奉仕活動が行われ、本堂など綺麗に掃除されています。

十月の奉仕作業が行われた日曜礼拝終了後、その労をねぎらいながら、小池門信徒会長が収穫したキノコによるきのこ汁で、秋の味覚を楽しみました。美味しいきのこ汁を御馳走になりながら話が弾み、当日参拝された皆さんの親睦が深まった楽しいひと時でした。



今年のきのこは美味しいね...話しがはずむ!

ご案内

- 11月20日(土) 講師 遠山信敬先生 (福井県)
 - 12月20日(月) 講師 鈴木寿昭先生 (山形県)
 - 1月20日(木) 講師 木賣慈教先生 (長野県)
 - 2月20日(日) 講師 三寄靈証先生 (福井県)
- いずれも毎月20日 夜7:00からです
法話会終了後はコールガンダーの練習があります。

ご案内

- 11月14日(日) 報恩講法要 前 10:00
- 1月 1日(土) 元旦会 前 7:00
- 1月16日(日) 御正法会 前 10:00
- 3月21日(月) 春の彼岸法要 前 10:00
講師 高木格英先生 (愛知県)

編集後記

▽今号は百一号ということで敬念寺だよりは新たな歩みをはじめます。親鸞聖人七百五十回大遠忌のご勝縁を機に、敬念寺門信徒の輪がいつそう広がるよう、この寺報も役目を果たしていきたいと思えます。▽今年のお寺の行事は、新しい役員により企画を工夫しながら実施され、多くの皆様の参加をいただきました。来る報恩講にも、ぜひ多くの皆様がお参りされますようお願いいたします。▽今後とも皆さま方のお力添えをお願いするとともに、ご意見・ご感想などを、参拝がてらお寺やお世話人にお寄せください。(白田 記)